

2015年介護保険制度・報酬大改革の 介護事業経営への影響と今後の経営戦略



朝川 知昭 氏

1席目は、厚生労働省老健局
振興課長 朝川知昭氏が「医療・
介護制度改革」括法案の最新動
向と成立後の介護サービスを展
望する」のテーマで講演。

まず、今後の介護保険をとり
まく状況について簡単にふれ、地
域包括ケアシステム構築のボイン
トや2015年を見据えた介護
保険計画を解説した。次に在宅
サービスの強化について、定期巡
回と同じコンセプトをもつたサー
ビスの拡充と小規模多機能の課
題、サ高住の現状やサービス提供
のあり方などを述べた。



朝川 知昭 氏

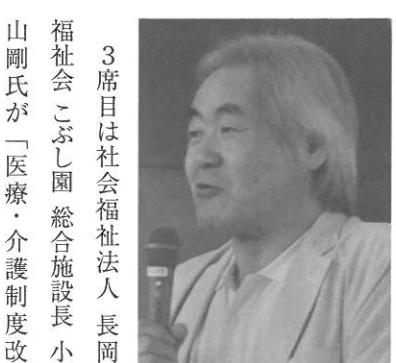
介護支援専門員の研修制度の見
直し、サ高住への住所特例の適用
などももあげて講演を終えた。

充実や強化をわかりやすく解説
した。新しい介護予防・日常生活
支援総合事業のガイドライン
は、7月ぐらいに案を示す予定
であると述べた。

早期に編成し2018年までには、
在宅支援体制を確立することま
た、建物よりも人材確保に重点
を置くことをポイントとした。



川原 秀夫 氏
シンドジウムでは、座長の田中が
「2015年介護保険制度・報
酬改定に対応した介護事業経営
を探る」のテーマを問い合わせ、各
講師は、介護事業種別の影響や
今後の経営戦略を述べ、参加者
からも多くの質問を受けて盛会
の中に研究集会が終了した。



小山 剛 氏

3席目は社会福祉法人 長岡
福祉会 こぶし園 総合施設長 小
山剛氏が「医療・介護制度改
定」括法案成立に伴い加速する
医療介護一体改革と今後の介護
事業戦略」のテーマで講演。ま
ず、今までの社会保障制度（介
護保険を含む）課題と地域包括
ケアの意味や方向性を小山流に
解説。更に2025年の社会保
障改革は、病院完結型から地域
完結型社会への転換である。そ

の論点として、認知症ケアや在
宅支援、介護予防などの
内容を説明。中でも医療・介護
連携や認知症施策、地域ケア会
議、生活支援、介護予防などの
ス事業者」「政治・行政」の3

者が「自覚と覚悟」をもち、協
働していくことが重要とした。

2015年までに、すべての部
門の意識改革を行い、従来型の医
療・社会福祉法人等の組織を再
編し、規模拡大より機能強化を

進めて行くことが大切。更に在
宅支援チームや地域包括チームを
編成し、規模拡大より機能強化を

明した。最後に新潟県・長岡市
の介護施設の分散化の事例を紹
介して講演を終えた。

拡大が求められる。中でも登録
者以外の生活圏域の高齢者も支
える仕組み作りも重要なと
した。最後に、コレクティブの取
組みを紹介して講演を終えた。



シンドジウムでは、座長の田中が
「2015年介護保険制度・報
酬改定に対応した介護事業経営
を探る」のテーマを問い合わせ、各
講師は、介護事業種別の影響や
今後の経営戦略を述べ、参加者
からも多くの質問を受けて盛会
の中に研究集会が終了した。

続いて、新たな財政支援制度
や介護保険制度の改正案の主な
内容を説明。中でも医療・介護
連携や認知症施策、地域ケア会
議、生活支援、介護予防などの
ス事業者」「政治・行政」の3

2席目に一般社団法人 地域ケ
ア総合研究所所長竹重俊文氏が
「2018年同時改定を見据え
たトップ・経営幹部の覚悟と意識
改革組織改革」のテーマで講演。
改革組織改革」のテーマで講演。
たトピック・経営幹部の覚悟と意識
改革組織改革」のテーマで講演。

医療介護一体改革と今後の介護
事業戦略」のテーマで講演。ま
ず、今までの社会保障制度（介
護保険を含む）課題と地域包括
ケアの意味や方向性を小山流に
解説。更に2025年の社会保
障改革は、病院完結型から地域
完結型社会への転換である。そ

の論点として、認知症ケアや在
宅支援、介護予防などの
内容を説明。中でも医療・介護
連携や認知症施策、地域ケア会
議、生活支援、介護予防などの
ス事業者」「政治・行政」の3

